



やるき
ほんまき
き
さ
き

木佐木

神奈川県議員

日本共産党

2024.2.8

木佐木ただまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984年山口県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

神奈川県 2024 年度予算案発表！

不妊治療への経済的支援盛り込む

1 会計別予算額

区分	令和6年度 当初予算額 A	令和5年度 6月現計予算額 B	前年度比 A/B
一般会計	2兆1,045億円	2兆2,833億円	92.2%
特別会計	2兆2,469億円	2兆2,561億円	99.6%
企業会計	1,603億円	1,638億円	97.8%
総計	4兆5,117億円	4兆7,034億円	95.9%

過去3番目

2

今年度と来年度の予算の比較

子ども、教育、環境、災害

対策を意識した予算に

来年度予算は、今年度の当初予算から減ったものの、個人や法人県民税の増収をうけ過去3番目の規模となっています。

特徴としては、子どもや重度障害者医療費の市町村への助成について、格差を是正する前進や高校実質無償化の対象をわずかながら拡充したり、県庁が脱炭素に率先して取り組むこと、災害時の県の備蓄強化などが挙げられます。

一方で、未病やヘルスケア・ニューフロンティア政策といった従来から問題点をしてきた政策にも予算がつけられており、より県民生活に予算を振り分けていくことが求められます。

詳細な予算や施策についてはこれからしっかりと調査をして、よりよい予算となるよう議論をしていきたいと思っております。

命を応援する県政へ

今回の予算案で最も注目していたのが、不妊治療への経済的支援に踏み切るかどうかでした。

昨年行った不妊治療経験者や予定している人へのアンケート結果を受けて、制度創設を前向きに検討しているという感触があったのですが、しっかりと盛り込まれておりホッとしました。

ただ、市町村との協調補助という形なので、住んでいる自治体が県と一緒に補助を行わなければ経済的支援は受けられません。また、体外受精は最大で一子当たり6回しか保険適用とならず、7回目以降の体外受精では、県の経済的支援も対象にならない方向性と言われており、県内どこに住んでいても受けられるようにしていくことや保険適用の治療に伴うものだけに限定しないようにしていくなど、これで終わりではないと思っています。

1年で一番の山場となる議会、全力で臨みます！

重点1 子ども・子育てへの支援

1,806億9,596万円

全ての子どもが健やかに成長し、県民が安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現

主な取組

▶ 妊娠・出産支援の強化

3億6,263万円

- ・市町村と連携した不妊治療費（先進医療分）の助成支援
- ・プレコンセプションケアの推進



県が不妊治療へ経済的支援を行う制度を創設する予算を提案

